



2020年11月20日

各 位

会 社 名 株式会社パワーソリューションズ
代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 成信
(コード番号: 4450 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 高橋 忠郎
電 話 番 号 03-5288-1117

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年8月25日に公表した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年12月期通期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,776	117	119	103	75.38
今回修正予測(B)	2,615	48	42	53	38.78
増減額(B-A)	△161	△69	△77	△50	
増減率(%)	△5.8	△59.0	△64.7	△48.5	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	2,872	347	328	223	199.69

2. 業績予想修正の理由

売上面では、2020年8月25日に公表した「2020年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、第2四半期累計期間は「新型コロナウイルス感染症の影響により、受注時期の遅延や予定されている見込み案件の凍結などの発生により、減収となりました。」とご説明し、第3四半期以降は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、一定程度の受注回復は見込めるものと予想しておりました。新型コロナウイルス感染症の影響は、第2四半期会計期間を底に徐々に回復基調であります。新型コロナウイルス感染症の影響による受注活動への影響(受注時期の遅延など)が第3四半期会計期間以降、2020年8月25日に公表した時点の想定よりも大きかったため、減収となりました。

利益面では、システム開発における人材配置の最適化による生産性の向上や変動費(外注・派遣費)の削減により売上原価の削減を進めたものの、受注の遅延等により体制に見合った売上高の獲得が見込めないことなどにより、営業利益、経常利益、当期純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想数値等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上